

二十四節気 **立秋**
(8月7日)

七十二候 **涼風至** (すずかぜいたる)
(8月7日)

寒蝉鳴 (ひぐらしなく)
(8月12日)

報告者 上田真佐江

1 季節の移ろい **立秋** 暑い日が続きますが暦の上では立秋。夕方にはヒグラシがにぎやかに鳴いています。ツクツクハウシの複雑な音は残暑のBGM。



コナラ 小櫨 ブナ科



クリ 栗 ブナ科



ミズキ 水木 ミズキ科



ズミ 酸実 バラ科



タラノキ 榎木 ウコギ科



エノキ 榎 アサ科



ノリウツギ 糊空木 アジサイ科
春に咲いた花が残っています。6月に花は白い色でした。



オトギリソウ 弟切草
オトギリソウ科
別名 鷹の傷薬、血止め草。
花弁にも黒っぽい斑点が見えます。



キツネノカミソリ
狐の剃刀 ヒガンバナ科
早春に細長い葉を伸ばして球根に養分を蓄え、夏の花期に葉は残っていません。



サルトリイバラ 猿捕茨
サルトリイバラ科
漢方、食用、葉は餅を包むのにも利用されてきた植物。お盆の頃にこの葉で包まれた「ばらっぱ餅」を食べる地域もあるそうです。



カラスウリ 烏瓜 ウリ科
雌雄異株。夕方から花開き、日の出前にしぼみます。



ダブルレインボー!!
よく見ると、主虹と副虹の色が逆転しています。



丸い食痕を残したのは誰!?
ウリハムシ?



オオシオカラトンボ（メス）
トンボ科



オオシオカラトンボ（オス）
トンボ科



コアオハナムグリ
コガネムシ科



アカスジキンカメムシ
（幼虫）キンカメムシ科
幼虫にも輝きがあります。



メスグロヒョウモン（オス）
タテハチョウ科



ササキリ（幼中）キリギリス科



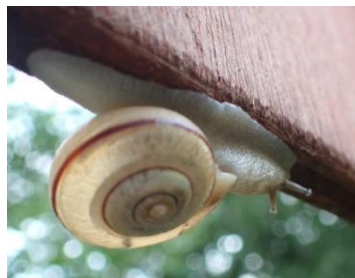
ツチイナゴ（幼虫）
バッタ科



ショウリョウバッタ バッタ科



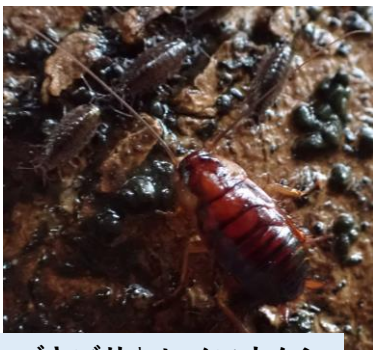
ニッポンマイマイのなかま
ニッポンマイマイ科



ヒダリマキマイマイ
オナジマイマイ科



アオバハゴロモ
アオバハゴロモ科



ゴキブリとヒメフナムシ
木の銘板の下で



クモの巣 カバキコマチグモ
フクログモ科 強い毒は虫だけ
でなく人にも害があります。



サトキマダラヒカゲ
タテハチョウ科
クヌギの樹液で

3 コバギボウシ（キジカクシ科）の開花株数調査（天候の関係で8月9日に実施）

コバギボウシとキンランの開花株数調査は、2006年から現在まで継続されています。

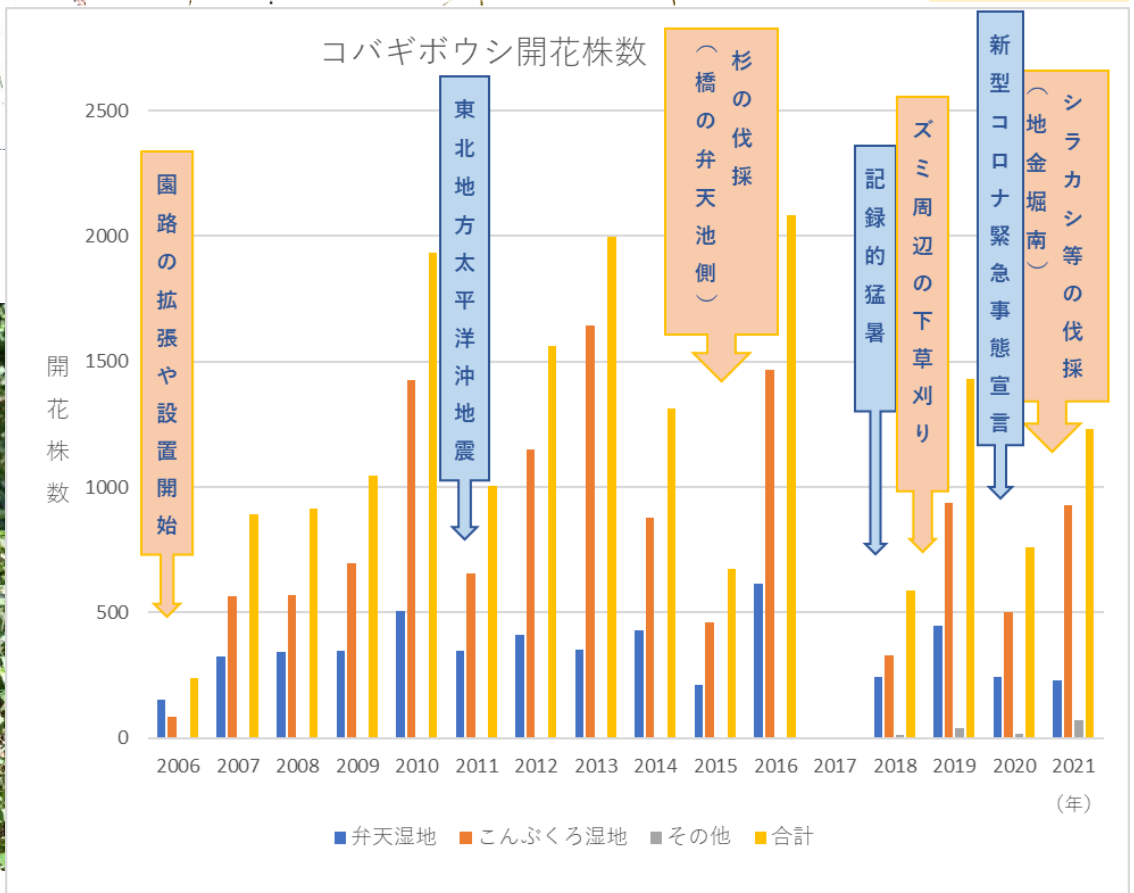
目的：コバギボウシの開花株数は、湿性環境の適度な明るさが維持されているかの指標になっています。

[以下、2011年発行「千葉学ブックレット 都市と自然環境ー4 市民の力で湧水自然を守る・柏市こんぶくろ池物語」より抜粋]

- ・湿性植物の代表としては、こんぶくろ池の希少種の中でもっとも個体数の多いコバギボウシを、コナラの優占する広葉樹二次林の希少種の中では、比較的多く見られるキンランを、調査対象に選びました。これらの種を代表に選んだのは、ある程度の個体数があり、生育の良いもの、悪いものなどがみられる種類でないと、環境条件と生育との関係を知ることができないからです。
- ・これらの結果は、完全に林冠が閉鎖した暗い林内ではなく、林冠のところどころにすき間（ギャップ）があるやや明るい光環境が、コバギボウシやキンランの生育に適しており、それ以外の植物の多様性をも高めることを意味しています。

結果と考察：昨年度よりも増加。地金堀南側（北2）で顕著な増加がみられた。2020年秋～2021年冬に、地金堀の南側（北2、北3）で行ったシラカシ、シロダモの適度な伐採の成果が出た可能性が示された。

	弁天湿地				北地区(こんぶくろ湿地)					中央地区			合計
	北部	中部	南部	小計	1	2	3	4	5	小計	8	小計	
2021年	130	100	0	230	43	262	485	31	109	930	71	71	1,231
2020年	121	119	5	245	32	45	319	17	87	500	17	17	762
2019年	209	230	11	450	43	220	306	47	323	939	42	42	1,431
2018年	175	65	4	244	12	43	162	115		332	13	13	589



夏休み特大号 記事1 エゴノキ

エゴノキ エゴノキ科

果実の果皮にエゴサポニンという界面活性作用をもつ物質が含まれ、昔は洗剤の用途で使われたそうです。

果実に洗剤のはたらきがある？



①15個の果実を採集



②ビニール袋に入れていただく



③ガーゼに包み水に絞り出す



果実に、ゾウムシが産卵のためにあけた穴が見えます



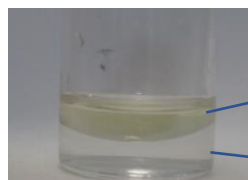
④③をペットボトルに移しふたを閉め、よく振る



エゴノネコアシブシ 猫足みたいな形の虫こぶ。エゴノネコアシアブラムシが寄生しています。



洗剤のように泡立っている！



油の層
水の層

⑤小瓶に水と食用油を入れる。



⑥⑤に④の液を加える。

⑦ 小瓶のふたを閉め、よく振る



水と油の層が、混ざり合った！



ガラスに油性マジックで書き、④の液をつけ、こする



界面活性作用で、油を含む汚れが、水に分散されることで、汚れが落ちます!!
この果実に産卵されたゾウムシは中にある種子を食べて育ち、ヤマガラもエゴノキの種子が大好物。

生き物を園内から持ち出さない！園内に持ち込まない！よう、お願いします。

この地の自然は、住んでいる生き物どうしの食べる食べられるなど精妙な関係で成り立っています。

夏休み特大号 記事2 キウイフルーツ…園内でふえています

環境省、農林水産省から発行されている「生態系被害防止外来種リスト」の中の「産業管理外来種（適切な管理が必要な産業上重要な外来種）」に、ハリエンジュと並び、キウイフルーツ、モウソウチク等の竹類」も入っています。

以下は、環境省 農林水産省発行「生態系被害防止外来種リスト 外来種を利用されている皆様へ」からの抜粋

キウイフルーツ 種子が鳥に運ばれて都市近郊の森林に侵入、在来種と競合、駆逐。

モウソウチク等の竹類 二次林や自然林に侵入、在来種と競合、駆逐。食用（タケノコ）や材として利用。放棄せず、適正な利用、管理等が望ましい。



キウイフルーツ マタタビ科 若い蔓や葉柄には毛が密生

参加人数

8日（事前調査）：6名

9日（コバギボウシ開花株数 エゴノキ洗剤）：2名